

ArcSale

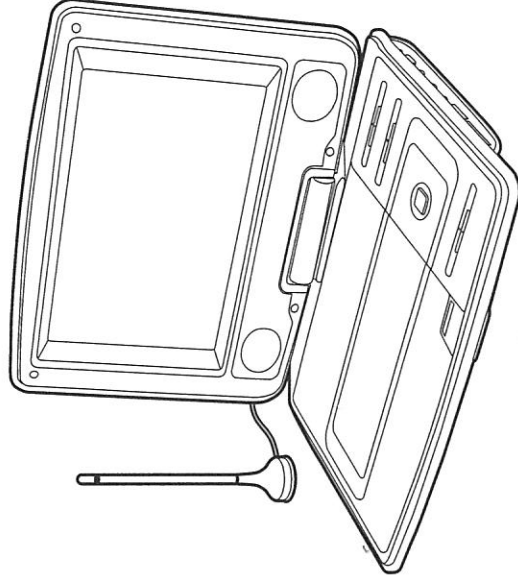
DPD-700i

7インチポータブルDVDプレーヤー
「CPRM方式対応」

DOE

チューナー内蔵

取扱説明書



本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

DVD
VIDEO

DOLBY
DIGITAL

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

111
SEC

目次

もくじ	2
はじめに	5
本取扱説明書の内容について	5
リージョン番号について	5
セット内容	5
安全上の注意	6
使用上のお願ひ	10
ディスクの取り扱ひと用語	11
再生できるディスクについて	11
各部のなまえ	13
本体	13
本体側面	14
リモコン	15
リモコンの準備	16
リモコンを初めて使う	16
電池の交換方法	16
リモコンの使用方法	16
電源について	17
AC電源アダプターの接続	17
シガーソケット電源アダプターの接続	18
充電電池の充電	19
メディアをセットする	20
ディスクをセットする	20
USBメモリをセットする	20
メモリーカードをセットする	20
基本操作	21
電源のオン/オフ	21
モードを切り換える	21
再生するメディアを切り換える	22
音量の調節	22
ヘッドフォン/イヤフォンを使用する	23
モニタ部を回転させる	23

目次

ボタン操作	24
本体・リモコン共通	25
リモコン	25
DVDを再生する	26
DVDをセットする	26
再生の基本操作	26
音楽CDを再生する	27
音楽CDをセットする	27
再生の基本操作	27
いろいろなるファイルを再生する	28
基本操作方法	28
動画/音楽ファイルの再生	28
静止画ファイルの再生	29
設定	30
設定の基本操作	30
一般設定	31
映像設定	32
パスワード設定	33
その他の設定	33
TVメニューボタンでの設定	34
ワンセグの準備	35
外部アンテナを接続する	35
ワンセグを視聴する	36
チャンネルをスキップする	36
チャンネルを選局する	37
ワンセグを設定する	38
設定の基本操作	38
スキップ	39
チャンネル	39
番組表	39
エリア	39
設定	39

目次

外部機器と接続する	40
外部機器との接続 - 入力	40
外部機器との接続 - 出力	41
キャリングケースの使用方法	42
プレーヤーを車の座席に取り付ける	42
トラブルシューティング	43
仕様	45
アフターサービス	47

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

本取扱説明書の内容について

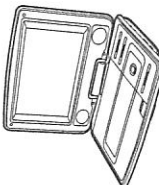
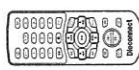






この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方
を説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCD
は、ディスク製作者側の意図により再生状態が決め
られていることがあります。本製品ではディスク製作
者側が意図した通りに動作をおこなうため、再生する
ディスクに付属の説明書もご覧ください。

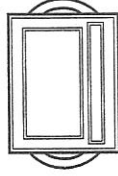
リージョン番号について

本製品のリージョン番号は2番です。DVDビデオ
ディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表
示されている場合には、そのリージョン番号マーク
の中に「2」のように2が含まれているか、またはALL
が表示されていないと、本製品では再生できません
(その際は画面に表示ができません)。

セット内容

本製品パッケージ内には下記の内容が含まれます。お確かめください。

1. プレーヤー本体 
2. リモコン 
3. リモコン用電池 
4. 外部アンテナ 
5. AVケーブル 
6. AC電源アダプター 
7. イヤホン 
8. シガーソケット電源アダプター 

9. キャリングケース 

10. 取扱説明書 

11. 保証書 



(注)イラストと実際の製品形状が若干異なる場合があります。

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください


- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示の意味は次のようになっています。

■表示の説明

表示	表示の意味
	警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(1)を負うことが想定されることを示します。
	注意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害(2)を負うことが想定されるか、または物的損害(3)の発生が想定されることを示します。

1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさします。
3: 物的損害とは、家屋・家財および家具・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図記号の意味
	⊘ は、禁止してはいけないことを示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚠ は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	⚡ は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告







異常や故障のとき

- 煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 落としたり、本体を破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 - 電源コードが傷んだり、電源プラグが異常発熱したときは、すぐに電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してから、コンセントから抜くこと。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 上記の問題等が発生した場合は、電源プラグを抜いた後、サポートセンターにご連絡ください。








安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

<p>設置されるとき</p>	<p>警告</p> <p>● 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと。 火災・感電の原因となります。</p>	<p> 水ぬれ禁止</p>
<p>● 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること。 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。</p>	<p>禁止</p> <p>● ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと。 本製品が落ちて、けがの原因となります。</p>	<p> 禁止</p>
<p>● 上に物を置かないこと。 金属類や、花びん・コップ、化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。</p>	<p>ご使用になるとき</p> <p>● 修理・改造・分解をしないこと。 火災・感電の原因となります。点検・調整・修理は、サポートセンターにご連絡ください。</p>	<p> 分解禁止</p>
<p>● ティーストレイトから異物を入れないこと。 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	<p>● 雷が降りだしたら、本製品に触れないこと。 感電の原因となります。</p>	<p> 異物挿入禁止</p>
<p>● 電源コードは ○ 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと。 ○ 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと。 ○ 無理に曲げたり、ねじったり、重ねたりしないこと。 火災・感電の原因となります。</p>	<p>● ティーストレイト内のレンズをのぞき込まないこと。 目に障害をもたらす恐れがあります。</p>	<p> 接触禁止</p>
<p>警告</p> <p>● 電源プラグの刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜いて、ゴミやほこりをとること。 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。</p>	<p> 指示</p>	

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

<p>設置されるとき</p> <p>注意</p> <p>● 温度の高い場所に置かないこと。 直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となります。また、破壊、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。</p>	<p>● 電気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと。 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となる場合があります。</p>	<p> 禁止</p>
<p>● 風通しの悪い場所に置かないこと。 内部温度が上昇し、火災の原因となります。</p>	<p>○ 壁に押しつけてください。 ○ 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ○ テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ○ しゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ○ 仰向け、横倒し、逆さまにしないでください。</p>	<p> 指示</p>
<p>● 移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続コードを外すこと。 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどを外さずに運ぶと、本製品が転倒し、故障やけがの原因となることがあります。</p>	<p>注意</p> <p>● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと。 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。 電源プラグを持って抜いてください。</p>	<p> 引っ張り禁止</p>
<p>● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電の原因となります。</p>	<p>● 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>	<p> ぬれ手禁止</p>
<p>● ティーストレイトに、手を入れないこと。 指をささみ、けがの原因となる場合があります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	<p>● ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したティーストレイトは使用しないこと。 ティーストレイトは本製品内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>	<p> 禁止</p>

安全上の注意

お使いになる前に必ずお読みください

注意

ご使用になるとき

- 電源を入れる前には音量を最小にすること。
また、接続しているテレビなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
接続したアンテナ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドフォン・イヤフォンを使用する場合は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- リモコンに使用している電池は
○極性(+)と(-)を間違えて挿入しないこと。
○充電・加熱・分解・分離・ショートさせたり、火の中に入れてたりしないこと。
○電池に表示されている【使用推奨期間】を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れてはそのままにしておかないこと。
これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。
器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 電源コードやケーブルを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したりしないこと。
火災・感電の原因になることがあります。

- 液晶モニタに衝撃をあてえないこと。
けがや故障の原因になることがあります。
- 本製品の上に重量物を載せたり、本来の目的以外に使用しないこと。
けがや故障の原因になります。
- 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。
けがや故障の原因になります。
- ケーブルは足などに引っかからないように、配線すること。また上に重量物を載せないこと。熱器具のそばに配線しないこと。
足に引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

●ほかのелектロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。
特に近くにほかのテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ほかのテレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ほかのテレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。



指示

使用上のお願い

お使いになる前に必ずお読みください

取扱いに関するご

- 引っ越しなどで、運くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
■救急箱や揮発性のものをかけたりしないでください。
■また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間に使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 音源使用しないときは必ず、メディアを取り出し、主電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しない時は機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源を入れて、使用してください。

置き場所に関するご

- 本製品は水平な場所に設置してください。くらくたの上や傾いた所などの、不安定な場所で行わないでください。メディアが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関するご

- 液晶モニタやボタン等のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学そうじんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

結露(露付き)について

■結露はディスプレイや本製品を傷めます。以下の注意をよくお読みください。

- 本製品を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき。
——“結露”はこんなときおきます——
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

※結露がおきそうなときは、本製品をすぐにこご使用にならないでください。

●結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスプレイや部品を傷めることがあります。ディスプレイを取り出し、本製品の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておく、本製品があたたまり、2～3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくことで“結露(露付き)”が生じにくくなります。

日本国内用です

■本製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では電源・電圧等が異なりますのでご使用いたできません。

ディスクの取り扱いと用語

再生できるディスクについて

本製品では、下記のディスクを再生することができます。

メディア	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク		映像(動画)+音声	12cm
音楽用CD		音声	12cm / 8cm

■以下のディスクも再生できます。

- DVD-R/-RW(ビデオモード)
- CPRM方式で記録されたDVD-R/-RW
- OCD-R/RW(JPEG)

※上記以外のディスクは再生できません。

- 上記のディスクでも、規格外のディスクや、傷や汚れ、記録状態や記録機器、記録ソフトの特性等により、再生できない場合があります。
- すべての記録終了時に、終了情報を記録するフアイナライズ処理を正しくしていないディスクは再生できません。
- 本製品はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(SECAM/PAL)表示のディスクには使用できません。
- 本製品DVDリリージョン番号は2番です。再生するDVDにリリージョン番号が表示されている場合は、そのリリージョン番号マークの中に「2」または「ALL」が表示されていないと、本製品では再生できません。
- 円形以外の特殊な形状(カード型等)のディスク、紙やシールの貼られたディスクは再生できません。
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

注意

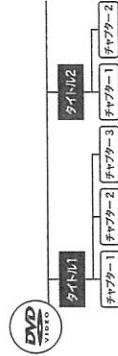
- ディスク/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。
- CPRM方式で記録されたディスクでも、場合によっては正常に再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いと用語

ディスクに関する用語について

- 一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。ビデオCD/音楽用CDなどは「トラック」で区切られています。

タイトル : DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター : タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。



トラック : 音楽用CDなどの内容を区切ったものです。



ディスクの取り扱い方

- ディスクについて指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- 再生面には手を触れないでください。



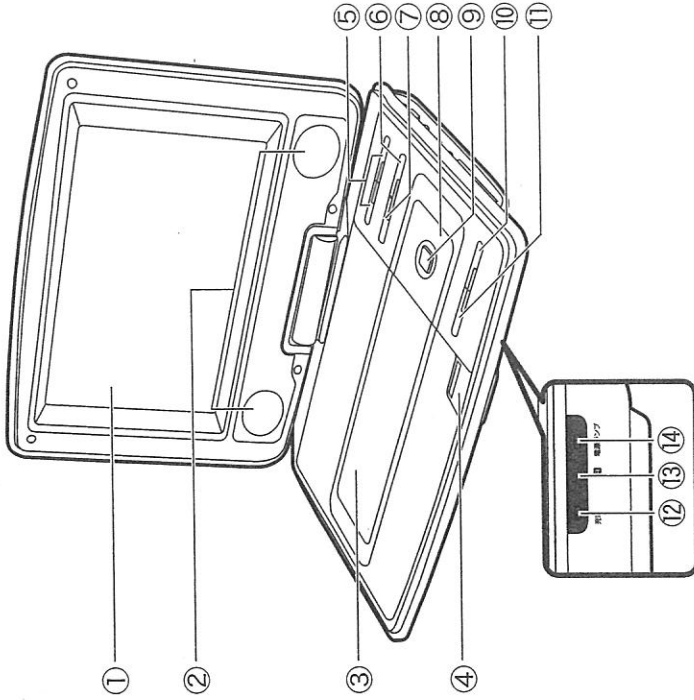
- ※ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ※シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。
- ※鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- ※傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。

ディスクの保管の仕方

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

各部のなまえ

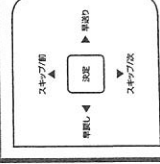
本体



- ① 液晶モニタ
- ② スピーカー
- ③ ディスクトレイ部
- ④ ディスクトレイ開閉ボタン
- ⑤ 音量+/-ボタン
- ⑥ モードボタン
- ⑦ 設定ボタン
- ⑧ ナビゲーション(▲▼◀▶)ボタン
- ⑨ 決定ボタン
- ⑩ 停止/メディアボタン
- ⑪ 再生/一時停止ボタン

- ⑫ 充電ランプ
- ⑬ リモコン受光部
- ⑭ 電源ランプ

ナビゲーションボタン

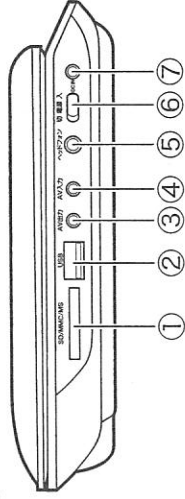


- ▲ スキップ/前ボタン
- ▼ スキップ/次ボタン
- ◀ 早戻しボタン
- ▶ 早送りボタン

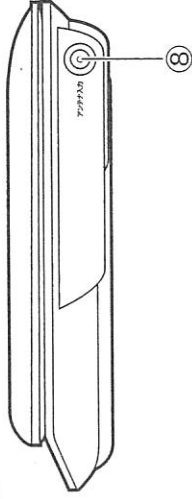
各部のなまえ

本体側面

本体右側面



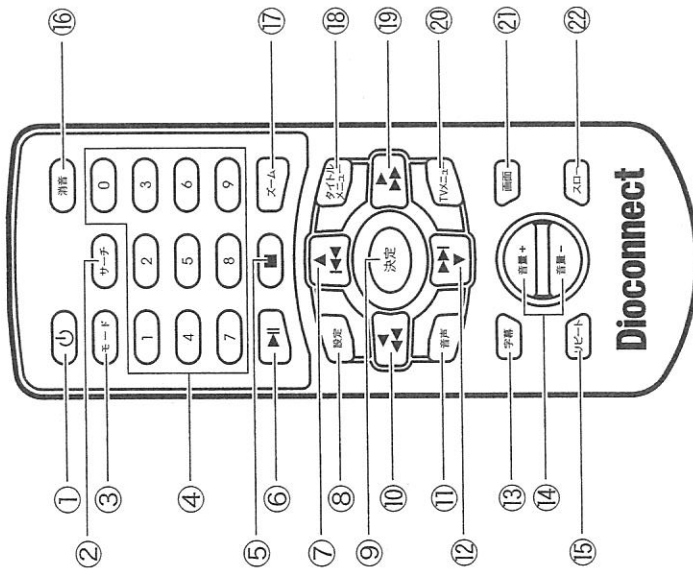
本体左側面



- ① カードスロット(SD/MMC/MSカード)
- ② USB端子
- ③ 映像・音声出力端子
- ④ 映像・音声入力端子
- ⑤ ヘッドフォン出力端子
- ⑥ 主電源スイッチ
- ⑦ 電源入力端子
- ⑧ アンテナ入力端子

各部のなまえ

リモコン



- ① 電源ボタン
- ② サーチボタン
- ③ モードボタン
- ④ 数字ボタン
- ⑤ 停止ボタン
- ⑥ 再生/一時停止ボタン
- ⑦ スキップ/前ボタン
- ⑧ 設定ボタン
- ⑨ 決定ボタン
- ⑩ 早戻しボタン
- ⑪ 音声ボタン
- ⑫ スキップ/次ボタン
- ⑬ スクリーンボタン
- ⑭ 音量+/−ボタン
- ⑮ リビートボタン
- ⑯ 消音ボタン
- ⑰ ズームボタン
- ⑱ タイトル/メニューボタン
- ⑲ 早送りボタン
- ⑳ ナビゲーション(▶)ボタン
- ㉑ TVメニューボタン
- ㉒ スローボタン

リモコンの準備

注意

- リモコンに使用している電池は
 - 対応の電池以外を使用しないこと。
 - 感度表示を間違えて挿入しないこと。
 - 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてはならないこと。
 - [使用推奨期間]を過ぎた電池や、使用済みの電池をリモコンに入れたままにしないこと。



これらを守らないと、液もれ、破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

リモコンを初めて使う

ご購入時は付属の電池があらかじめセットされています。絶縁シートを引き抜いてからご使用ください。



電池の交換方法

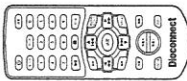
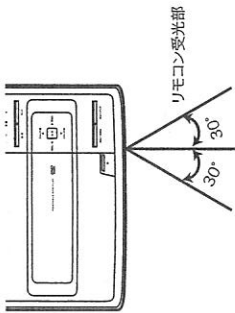
① リモコン裏面にある電池ケースをスライドさせて取り出します。



② 新しい電池(タイプCR2025)を、+極を上に向けてセットし、電池ケースを戻します。



リモコンの使用方法



リモコンをブレイヤー本体のリモコン受光部に向けて、ボタンを押します。

※ リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。
※ リモコンの到達距離は、約4m以内です。

注意

- 電池について
 - 電池が動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。

- リモコンについて
 - 落としたり、衝撃を与えないでください。
 - 高温、高温になる場所に置かないでください。
 - 分解しないでください。

電源について

本製品は、以下の給電で使用できます。

- ① 付属のAC電源アダプター接続による給電 (次項目参照)
- ② 付属のシガーソケット電源アダプター接続による給電 (→P.18)
- ③ 内蔵充電電池を充電しての給電 (→P.19)

接続する前

- 主電源を「切」にしてください(→P.21)。
- 全ての接続が完了した後、主電源を「入」にし、電源をオンにしてください

AC電源アダプターの接続

AC電源アダプターを本体に接続するときは、本体にDC電源プラグを差し込んでから家庭用電源コンセントに接続してください。

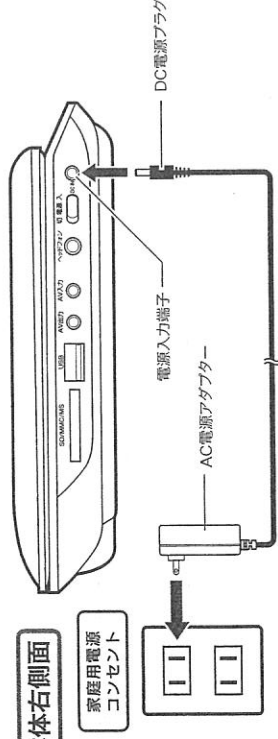
⚠ 警告

- AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となります。
- DC電源プラグを本体の電源入力端子に差し込んだときに、完全に根元に差し込まれたことを確認してください。
- AC電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- AC電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となります。
- AC電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。

本体右側面



電源について

シガーソケット電源アダプターの接続

シガーソケット電源アダプターを本体に接続するときは、本体にDC電源プラグを差し込んでから自動車のシガーソケットに接続してください。

⚠ 警告

- シガーソケット電源アダプターを使用時は、運転の邪魔にならないようにしてください。また、必ず付属のシガーソケット電源アダプターをご使用ください。
- 自動車の運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。本製品の操作は、必ず車が停止した状態で、周囲の安全を確認した後に行ってください。
- コードを傷つけないでください。火災や断線の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。感電する恐れがあります。
- 安全のため、以下の場所には取り付けないでください。エアバッグの操作/効果の妨げになる場所/運転の妨げになる場所/突起物として危険が生じる場所/強い衝撃が加わる場所

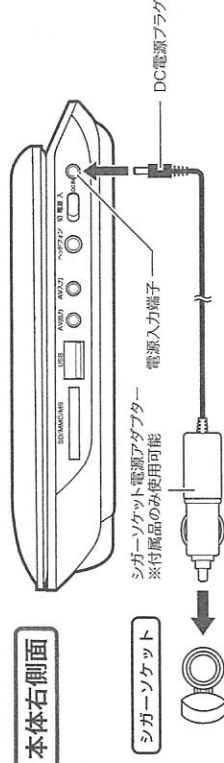


指示

⚠ 注意

- 車の空調吹き出し口などの温度/湿度が特に高い場所や、直射日光があたる場所には設置しないでください。特に車内は非常に高温になる場合がありますので、ご注意ください。感電の原因となることがあります。
- シガーソケット電源アダプターを車のシガーソケットに差し込むときに、根元まで完全に差し込まれたことを確認してください。
- シガーソケット電源アダプターは熱くなることがありますが、故障ではありません。
- シガーソケット電源アダプターを、布でくるんだり、全体を覆ったりしないでください。故障の原因となることがあります。
- シガーソケット電源アダプターを分解したり、改造したりしないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の原因となります。
- 外国車や国産車の一部車種によって、シガーソケットの形状が、適合しない場合があります。ご注意ください。
- 車種によって、エンジン始動時に瞬間的に規定以上の電圧が供給される場合があります。そのような車種の場合は、エンジン始動時には本製品のシガーソケット電源アダプターを取り外しておいてください。
- 車から離れた際は必ず本製品をシガーソケットから取り外しておいてください。バッテリー上がりの原因となります。

本体右側面



注意：シガーソケット電源アダプターは12V車専用です。24Vの自動車では使用することができません。

電源について

充電電池の充電

内蔵充電電池の充電はAC電源アダプターで充電できません。

主電源を「切」にしてください(→P.21)。

P.17を参考に、本製品をAC電源アダプターで家庭用電源コンセントに接続してください。充電が開始されます。

充電中は本体の充電ランプが赤色に点灯します。充電が終了すると充電ランプが緑色に点灯します。充電が終了したら、速やかにAC電源アダプターの接続を解除します。

必要充電時間	：約5時間
最大再生可能時間	：約2時間
ワンセグ最大視聴可能時間	：約2時間

※充電が切れた後に再び充電を行う際は、10～20分間程、時間を置いてから再充電を行ってください。

※充電を行う際は、必ず付属のAC電源アダプターをご使用ください。

※プレイヤーを使用中に充電する場合は、完了に約8時間程かかります。

警告



●本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因になります。

●本製品に内蔵している充電電池以外を使用しないでください。

●充電電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。

●充電電池の充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。

●本製品を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。

●以上は、充電電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。大けがや火災の原因になります。充電電池から漏れた液が皮膚や服についた時は、すぐに水で洗浄してください。万一、液が目に入った場合は、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

●万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。その後弊社サポートセンターにお問い合わせください。

●本製品をお手入れする場合には、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。感電や、充電電池に異常が起った場合やけだの恐れがあります。

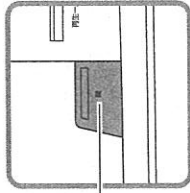


指示

メディアをセットする

ディスクをセットする

- ①本体の(ディスクトレイ開)ボタンを押して、ディスクトレイを開きます。
- ②ディスクを「カチッ」と音がするまでしっかりとセットします。
- ③ディスクトレイを指で押し閉じます。



ディスクトレイ開ボタン

本体中面

USBメモリをセットする

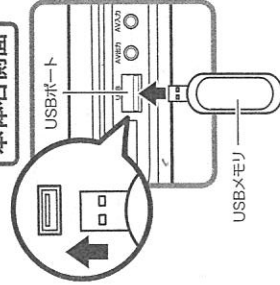
本製品は、USBメモリ(別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

メモリーカードをセットする

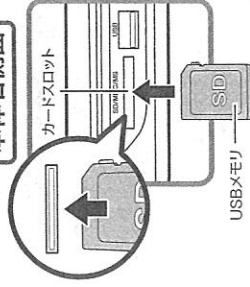
本製品は、SD、MMC、MSカード(全て別売)を接続して、保存されている動画/音楽/静止画ファイルの再生を行うことができます。

本体の電源がオンになっていないことを確認し、本体のカードスロットに、カードをしっかりとセットし、セットされたことを確認したら、本体の電源をオンにします。

本体右側面



本体右側面



本製品には、再生するメディアを切り換える機能があります(→P.22)。

再生したいメディアを個別に本体にセットしてお使いください。

メディアの切り換えをする場合は、かならず再生を停止した状態でお願いします。

注意

- 一部対応していないメディアがあります。あらかじめご了承ください。

基本操作

電源のオン/オフ

主電源のオン/オフ

本体右側面の〈主電源〉スイッチを「入」の方向に切り換えて、主電源をオンにします。

モードが『DVDモード』の状態であれば、自動的にディスクの再生が始まります。

主電源をオフにする場合は、〈主電源〉スイッチを「切」の方向に切り換えます。

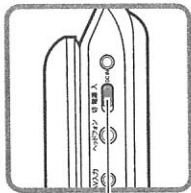
電源をスタンバイにする

主電源がオン状態の時のみ、リモコンの〈電源〉ボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になります。

再度リモコンの〈電源〉ボタンを押すと、スタンバイ状態が解除され、電源がオンになります。

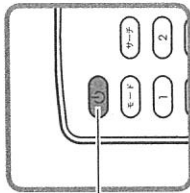
※長期間本製品を使用しない場合は、必ず本体の〈主電源〉スイッチを「切」にしてください。

本体右側面



主電源スイッチ

リモコン



電源ボタン

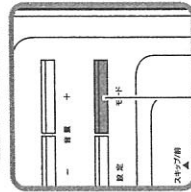
モードを切り換える

本製品には3つのモードがあります。ご使用に合わせてモードを切替えてください。

再生するメディアの切り換えは、再生が停止状態でおこなってください。

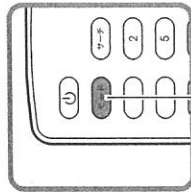
- ①DVDモード：DVD、CDディスクの再生
 - ②DVBモード：ワンセグの視聴
 - ③AVINモード：外部機器からの映像・音声の入力
- 〈モード〉ボタンを押すことでモードが切り換わりります。

本体中面



モードボタン

リモコン



モードボタン

基本操作

再生するメディアを切り換える

再生するメディアを切り換える事ができます。あらかじめ、個別にメディアをセットしてください(→P.20)。再生するメディアの切り換えは、再生が停止状態でおこなってください。

- ①電源をオンにします。
- ②〈モード〉ボタンを押して、『DVDモード』にします。
- ③本体の〈停止/メディアボタン〉を長押しします。
- ④画面上に表示される『メディア一覧』より、〈ナビゲーション〉(▲▼◀▶)ボタンを押して、再生したい『メディア』を選択します。

DISC：DVDまたはCDディスクを再生します。

MEDIA

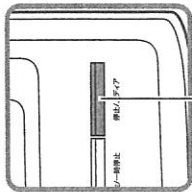
USB：USBメモリ内のファイルを再生します。

SD：SDまたはMMCカード内のファイルを再生します。

⑤〈決定〉ボタンを押して、選択したメディアの読み込みを確定します。

⑥選択したメディアの読み込みが開始します。

本体中面

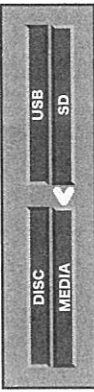


停止/メディアボタン

リモコン



決定ボタン ナビゲーション ▲▼◀▶ボタン



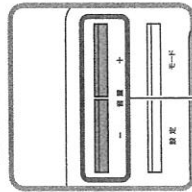
【メディア一覧】

音量の調節

〈音量+/-〉ボタンを押して音量を調節します。

〈音量+〉ボタンを押すと音量が上がり、〈音量-〉ボタンを押すと音量が下がります。

本体中面



音量+/-ボタン

リモコン



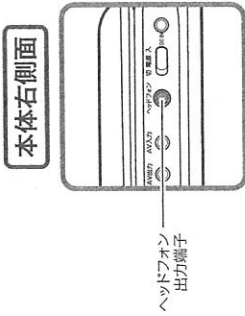
音量+/-ボタン

基本操作

ヘッドフォン/イヤホンを使用する

本体右側面のヘッドフォン出力端子にヘッドフォン/イヤホンを接続して音声を聞くことができます。

接続すると、音声を本体のスピーカーから出なくなり、ヘッドフォン/イヤホンから出るようになります。音量を最小にしてから接続してください。

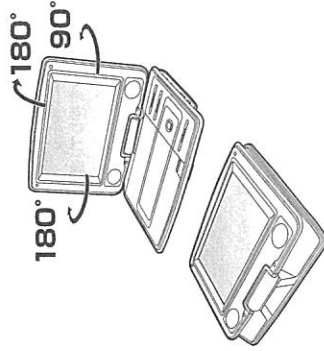


モニター部を回転させる

モニター部には回転2軸ヒンジを搭載しているため、様々な向きに変えて映像を楽しむことができます。縦方向に180°、横方向に270°に回転させることができます。

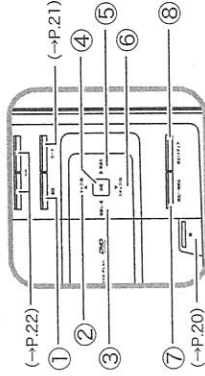
モニターを外側にして閉じることができます。

※無理な力をかけて回転させないでください。本体の破損の原因となります。

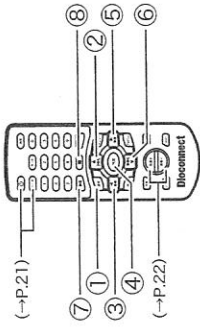


ボタン操作 - 本体・リモコン共通 -

本体中面



リモコン



①設定ボタン

○DVDモード、「ISDBモード」で《設定》ボタンを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。

②スキップ/前ボタン/▲ボタン

○再生中に《スキップ(前)》ボタンを押すと、前のチャプター・トラック/ファイルにスキップします。
○メニュー画面や各種設定画面等で《ナビゲーション▲》ボタンを押すと、項目を上移動します。

③早戻しボタン/◀ボタン

○《早戻し》ボタンを押すことに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、早戻し再生の速度が切り換わります。
○メニュー画面や各種設定画面等で《ナビゲーション◀》ボタンを押すと、項目を左移動します。

④決定ボタン

○このボタンはメニュー画面や各種設定画面等での操作に使用します。
○《決定》ボタンを押すと、選択中の項目を決定することができます。

⑤早送りボタン/▶ボタン

○《早送り》ボタンを押すことに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、早送り再生の速度が切り換わります。
○メニュー画面や各種設定画面等で《ナビゲーション▶》ボタンを押すと、項目を右移動します。

⑥スキップ/次ボタン/▼ボタン

○再生中に《スキップ(次)》ボタンを押すと、次のチャプター・トラック/ファイルにスキップします。
○メニュー画面や各種設定画面等で《ナビゲーション▼》ボタンを押すと、項目を下移動します。

⑦再生/一時停止ボタン

①停止/一時停止状態の際に《再生/一時停止》ボタンを押すと、再生されます。
②再生状態の際に《再生/一時停止》ボタンを押すと、一時停止されます。
※再生と一時停止は同一ボタンで操作します。

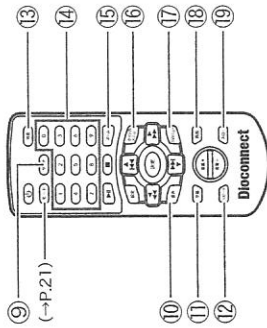
⑧停止/メディアボタン

本体
○停止時に《停止/メディア》ボタンを長押しすると、「メディア一覧」が表示されます。
①DVDディスクの再生時に《停止/メディア》ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。再度《停止/メディア》ボタンを押すと、再生が再開されます。
②DVDディスクの再生時に《停止/メディア》ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

リモコン

①DVDディスクの再生時に《停止》ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。再度《再生》ボタンを押すと、再生が再開されます。
②DVDディスクの再生時に《停止》ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。
※映像/音声ファイルの場合は、1度押すと再生が停止されます。

リモコン



⑨サーチボタン

- 〈サーチ〉ボタンを押すと、画面にサーチ画面が表示されます。〈数字〉ボタンでそれぞれの項目を入力指定すると、指定された場面より再生を開始します。※画面で情報を確認できます。

⑩音声ボタン

- 〈音声〉ボタンを押すとDVDディスクに記録されている音声言語を切り換えることができます。※音声の切り換えは、複数の音声記録されているディスクを再生している時に可能です。

⑪字幕ボタン

- 〈字幕〉ボタンを押すとDVDディスクに記録されている字幕言語を切り換えることができます。※字幕の切り換えは、複数の字幕言語が記録されているディスクを再生している時に可能です。

⑫リピートボタン

- 再生中に〈リピート〉ボタンを押すと、リピート(繰り返し)再生の設定をおこないます。ボタンを押す毎にリピートの設定が切り換わります。

- 『ISDBモード』では視聴中の番組のタイトルを表示します。

⑬消音ボタン

- 再生中に〈消音〉ボタンを押すと、音声か0になります。再度〈消音〉ボタンを押すか、〈音量+/-〉ボタンを押すと、消音設定が解除されます。

⑭数字ボタン

- プログラム作成、暗証番号入力、CDのトラックの直接選択、ディスクのタイトル/チャプター/時間指定等、数字入力をする際に使用します。○『ISDBモード』ではチャンネルボタンとして使用します(→P.37)。

⑮ズームボタン

- 〈ズーム〉ボタンを押すと、表示倍率を切り換えることができます。

⑯タイトル/メニューボタン

- 〈タイトル/メニュー〉ボタンを押すと、ディスクのタイトル画面やメニュー画面に戻ることができます。※この機能はディスクによって使用できない場合があります。

⑰TVメニューボタン

- 全てのモードで(TVメニュー)ボタンを押すと、簡単に画面の設定ができます(→P.34)。

⑱画面ボタン

- 〈画面〉ボタンを押すと、現在再生中のディスクの各種情報をモニタに表示します。

⑲スローボタン

- 〈スロー〉ボタンを押すと、再生中の動画をスロー再生できます。ボタンを押す毎に設定を変更できます。

DVDを再生する

本製品では、DVDビデオ、DVD-R/RW(ビデオモード)、CPRM方式で記録されたDVD-R/-RWのディスクを再生することができます。

DVDをセットする

- ①本体の電源をオンにします。
- ②〈モード〉ボタンを押して、『DVDモード』にします。
- ③本体の〈トレイディスク開〉ボタンを押してディスクトレイを開き、DVDディスクをセットします。
- ④ディスクトレイを閉じます。
- ⑤自動的に再生が始まります。

再生の基本操作

再生/一時停止

- 〈再生/一時停止〉ボタンを押すと、再生/一時停止します。

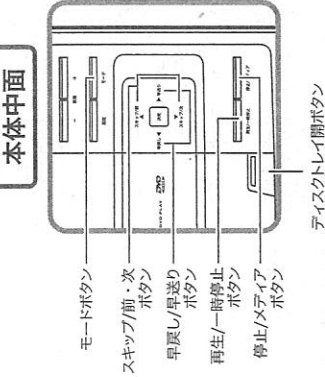
停止

- ①再生時に本体の〈停止/メチア〉ボタン、またはリモコンの〈停止〉ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、〈再生〉ボタンを押します。
- ②再生時に本体の〈停止/メチア〉ボタン、またはリモコンの〈停止〉ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

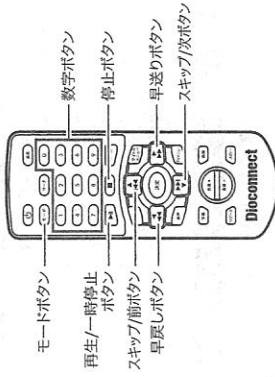
スキップ/早戻し/早送り

- ①〈スキップ/前・次〉ボタンを押して、前/次のチャプター/トラック/ファイルにスキップします。
- ②〈早戻し/早送り〉ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24～25をご参照ください。



リモコン



音楽CDを再生する

音楽CDや、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWの再生に対応しています。
 ※CD-DAフォーマット以外の音楽用CD-R/-RWは、録音終了時にファイナライズが必要です。また、上記の条件を満たしても、記録の状態によっては再生できない場合があります。

音楽CDをセットする

- ①本体の電源をオンにします。
- ②<モード>ボタンを押して、「DVDモード」にします。
- ③本体の<トレイディスク開>ボタンを押してディスクトレイを開き、CDディスクをセットします。
- ④ディスクトレイを閉じます。
- ⑤自動的に再生が始まります。

再生の基本操作

- 再生/一時停止
- <再生/一時停止>ボタンを押すと、再生/一時停止します。
- 停止

- ①再生時に本体の<停止/メディア>ボタン、またはリモコンの<停止>ボタンを1度押すと、再生が一旦停止されます。停止した箇所から再生を再開する場合は、<再生>ボタンを押します。
- ②再生時に本体の<停止/メディア>ボタン、またはリモコンの<停止>ボタンを2度押すと、再生が完全に停止されます。

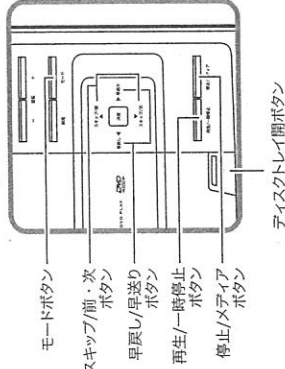
スキップ/前送り/早送り

- ①<スキップ/前・次>ボタンを押して、前/次にスキップします。
- ②<早戻し/早送り>ボタンを押して、早戻し/早送り再生します。

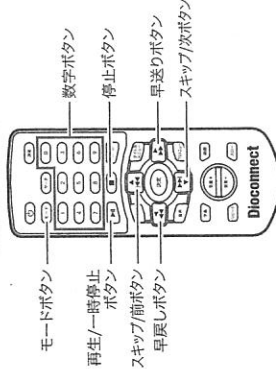
曲番号指定

- ①リモコンの<数字>ボタンを押して曲番号を入力します。
- ②<決定>ボタンを押して入力を確認します。
 ※<決定>ボタンを押さずに数秒経過すると、自動的に指定した曲の再生が開始します。
- ③指定した曲の再生が開始します。

本体中面



リモコン



本ページ記載の他に色々な機能があります。
 本書P.24~25をご参照ください。

いろいろなファイルを再生する

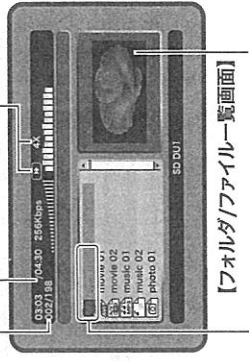
本製品では動画(MPEG4)、音楽(WMA/MP3)、静止画(JPEG)ファイルを再生することができます。再生したいファイルを記録した各メディアを用意してください。
 各種メディアの本製品のセットの詳細はP.20「メディアの切り換えの詳細」、P.22「再生するメディアを切り換える」を参照してください。

基本操作方法

- ①メディアを本体にセットして電源をオンにします。
 - ②<モード>ボタンを押して、「DVDモード」にします。
 - ③再生するメディアを切り換えます。
 - ④読み込みが完了すると、右側のフォルダ/ファイル一覧画面が表示されます。
 - ⑤<ナビゲーション>ボタンを押して、フォルダを選択し(フォルダがある場合)、
 - ⑥<決定/再生/一時停止>ボタンを押すと、フォルダに保存されたファイル一覧が表示されます。
 - ⑦<ナビゲーション>ボタンを押して、再生したいファイルを選択します。
 - ⑧<決定/再生/一時停止>ボタンを押すと、ファイルの再生が開始します。
- 一番上のフォルダを選択して決定ボタンを押すと、上の階層へ移動します。

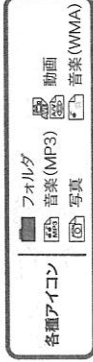
ファイル番号/総ファイル数

再生時間/ファイル時間(ビットレート)
 (音楽ファイルのみ表示) 再生状態



【フォルダ/ファイル一覧画面】

決定ボタンで上の階層へ移動 フレビュー画面



各種アイコン

フォルダ 動画
 音楽(MP3) 音楽(WMA)
 写真

動画/音楽ファイルの再生

再生/一時停止

- <再生/一時停止>ボタンを押すと、再生/一時停止します。

停止

- 再生中に本体の<停止/メディア>ボタン、またはリモコンの<停止ボタン>を1度押すと、ファイルの再生が停止します。

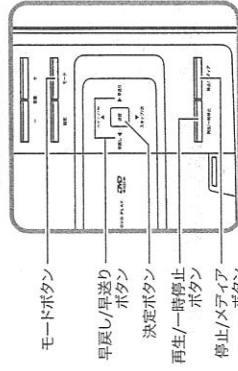
早戻し/早送り

- 再生中に<早戻し/早送り>ボタンを押すと早戻し/早送り再生します。押すごとに、2倍→4倍→8倍→16倍→32倍→通常再生の順に繰り返して、再生の速度が切り換わり、<決定>ボタンを押すと通常再生に戻ります。

リピート機能

- リモコンの<リピート>ボタンを押してリピート再生を設定することができます(→P.25)。

本体中面



リモコン



いろいろなファイルを再生する

静止画ファイルの再生

静止画ファイルの再生は自動的にスライドショーで再生されます。全ての静止画ファイルのスライドショー再生が終了すると、「フォルダ/ファイル一覧画面」に戻ります。



【サムネイル表示画面】

再生/一時停止

○再生/一時停止ボタンを押すと、再生/一時停止します。

回転機能

○静止画ファイルの再生時に(ナビゲーション)ボタンを押すと、画像のアングルを変えることができます。

- ◀ボタン：押すごとに左に90°ずつ回転
- ▶ボタン：押すごとに右に90°ずつ回転

サムネイル表示

○スライドショー中に本体の(停止/メディア)ボタン、またはリモコンの(停止)ボタンを押すと、記録されている静止画ファイルがサムネイル表示されます。

○下欄の「Menu」を選択すると、静止画ファイルの再生時のリモコンの「操作説明」が表示されます。記録されている静止画ファイルが多くページ分けられた場合、下欄の「◀Prev/Next▶」を選択すると、サムネイル表示のページを切り換えることができます。

○下欄の「Slide Show」を選択するとスライドショー再生に戻ります。

リピート機能

○リモコンの(リピート)ボタンを押してリピート再生を設定することができます(→P.25)。

本ページ記載の他に色々な機能があります。本書P.24～25をご参照ください。

注意

- 表示されないファイルは本機で再生できません。また表示されているファイルでも再生できない場合があります。
- ファイルによっては映像のみを再生して、音声のみを再生できない場合があります。
- ファイル名に表示できないコードがある時は、文字化けを起こす場合があります。
- どのファイル形式でも、バージョンやビットレート、設定やサイズなどによっては再生できない場合があります。

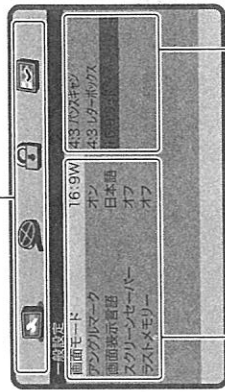
設定

設定メニューにて、本製品の環境設定をおこないます。

設定の基本操作

- ①本体の電源をオンにします。
- ②(モード)ボタンを押して、「DVDモード」にします。
- ③再生を停止した状態で(設定)ボタンを押します。
※メディアの読み込み中は設定をおこなえません。読み込みが終わるまでお待ちください。
- ④(ナビゲーション)ボタンを押して、メインメニュー項目を選択します。
- ⑤(ナビゲーション)ボタン、または(決定)ボタンを押して、サブメニューへ移動します。
- ⑥(ナビゲーション)ボタンを押して、サブメニュー項目を選択します。
- ⑦(ナビゲーション)ボタン、または(決定)ボタンを押して、設定メニューへ移動します。
- ⑧上記の手順でお好みの設定メニュー項目を選択した後、(決定)ボタンを押して設定を確認します。
- ⑨設定操作を終了する場合は、再度(設定)ボタンを押します。

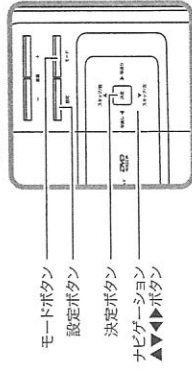
メインメニュー項目



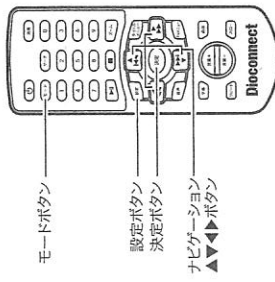
【設定画面】

サブメニュー項目
(現在の設定状態)

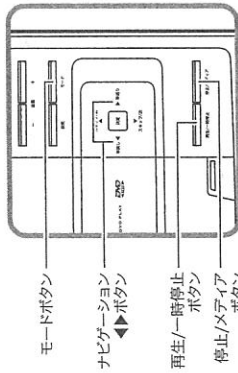
本体中面



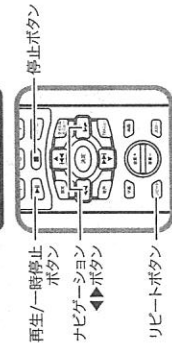
リモコン



本体中面



リモコン



設定

一般設定

画面モード

接続するテレビの形状に合わせて、優先したい画面形状を設定することができます。

- 4 : 3 バンスキャン
- 4 : 3 の画面で16 : 9 のワイド映像を見るために、左右を切り取って表示する方法です。画面のサイズはワイド画面の場合と同等に表示できます。

- 4 : 3 レターボックス
- 4 : 3 の画面で16 : 9 のワイド映像を見るために、上下に黒い帯を表示させる方法です。表示が小さくなりますが、ワイド画面のすべてをみることができます。

- 16 : 9 ワイド
- 16 : 9 ワイドテレビを本製品に接続している場合に設定してください。

アングルマーク

色々なアングルで撮影された画像を記録しているDVDディスクを再生中、アングルを切り換えた際のアイコン表示の設定をすることができます。

オン

現在の切り換えたアングルのアイコンが常に表示されます。

オフ

アングルを切り換えた後、一定時間が経過するとアイコンが非表示になります。

画面表示言語

画面表示の言語を、日本語/英語より選択することができます。

スクリーンセーバー

再生画像の一時停止状態で線くも液晶画面の焼き付きが起る原因となります。本機能はこの現象を防止することができます。オン/オフで設定を切り換えます。

ラストメモリー

本機能をオンにするとDVDディスクの最後に再生を停止した箇所を本機が記録し、同じ箇所より再生を再開します。オン/オフで設定を切り換えます。

※ディスクの状態により本機能が働かない場合があります。

注意

- DVDには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、本設定の画面形状通りに再生されないことがあります。
- プレーヤー本体を4 : 3のテレビに接続した状態で「16 : 9」を選ぶと、再生画面に水平方法の歪み、縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

設定

映像設定

鮮明度

映像の鮮明さを設定します。

高/中/低より選択することができます。

明度

映像の明るさを「-20～+20」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

コントラスト

映像のコントラストを「16～+16」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

ガンマレベル

映像のガンマレベル(入力される明るさの信号と出力される信号のバランス)を設定します。

高/中/低/なしより選択することができます。

色合い

映像の色調を「-9～+9」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

彩度

映像の彩度を「-9～+9」の段階で設定することができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを押して数値を入力し、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。

輝度タイミング

テレビに映像を出力する際の、輝度タイミングの設定します。

「OT/IT」より選択することができます。

設定

パスワード設定

パスワードモード

パスワード機能の使用設定をすることができます。設定時にパスワードを入力します。オン/オフで設定を切り換えます。

パスワード

パスワードの変更設定をおこないます。

- ①「旧パスワード」の項目に以前設定した、または初期設定されたパスワードを入力します。
- ②「新パスワード」の項目に、新しく設定したいパスワードを入力します。
- ③「パスワード確認」の項目に、「新パスワード」をもう一度確認のために入力します。
- ④「OK」で〈決定〉ボタンを押して決定します。

※工場出荷時は暗証番号は「0000」に設定されています。

その他の設定

テレビ信号方式

国によって、映像出力方式が異なります。本製品をテレビに接続する際の映像出力方式の設定を行うことができます。お使いの接続するテレビに合わせて設定してください。

PAL

ヨーロッパなどの国で使用。

オート

「PAL」と「NTSC」の両方に対応します。

NTSC

日本、米国、その他の国で使用。

※日本でご使用の場合は「NTSC」または「オート」に設定してください。

音声言語

ディスク再生時の音声の言語を選択することができます。

日本語/英語より選択することができます。

字幕言語

ディスク再生時の字幕の言語を選択することができます。

日本語/英語/オフより選択することができます。

設定

メニュー言語

ディスクのメニューの言語を選択することができます。

日本語/英語より選択することができます。

視聴制限

視聴制限のある映像ソフトを再生する場合、制限レベルの変更時にパスワードの入力が必要となります。

①お好みの制限レベルを選択し、〈決定〉ボタンを押します。

②パスワード入力画面が表示され、リモコンの数字ボタンで正しいパスワードを入力すると、「OK」の項目が選択できる様になります。〈決定〉ボタンを押します。

P.33の「パスワード設定」の項目を参照してください。

初期化

設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

TVメニューボタンでの設定

全てのモードでリモコンの(TVメニュー)ボタンを押すと、簡単に画面の設定ができます。
(ナビゲーション▲▼)ボタンで項目を選択し、(ナビゲーション◀▶)ボタンで設定が確定します。

※「DVDモード」、「ISDBモード」の設定項目にも同じ、または類似の設定項目がありますが、ここでの変更内容は反映されません。

明るさ

画面の明るさを調節します。「0」から「100」の範囲で選択し、標準は「50」です。

ディスプレイ

画面のON/OFFを切り換えます。(ナビゲーション◀▶)ボタンで再表示します。

コントラスト

画面のコントラストを調節します。「0」から「100」の範囲で選択し、標準は「50」です。

表示サイズ

画面の表示サイズを切り換えます。16:9/4:3を選択します。

カラー

画面のカラーを調節します。「0」から「100」の範囲で選択し、標準は「50」です。

言語

(TVメニュー)ボタンでの設定画面の言語を切り換えます。日本語/英語を選択します。

色の濃さ

画面の色の濃さを調節します。「0」から「100」の範囲で選択し、標準は「50」です。

初期設定リセット

(TVメニュー)ボタンでの設定画面を初期設定に戻します。

ワンセグの準備

外部アンテナを接続する

本製品には外部アンテナが付属しています。ワンセグ放送を視聴する場合は外部アンテナを使用してください。

⚠ 警告

- 雷が鳴っているときは、テレビの接続およびアンテナ端子への接続作業を中止してください。
- 雷害が発生する高電圧によって感電するおそれがあります。
- 雷が降りだしたらアンテナ線やAC電源アダプターの差し込みプラグにはふれないでください。
- 感電の原因となります。
- 送配電線から離れた場所に設置してください。

⚠ 注意

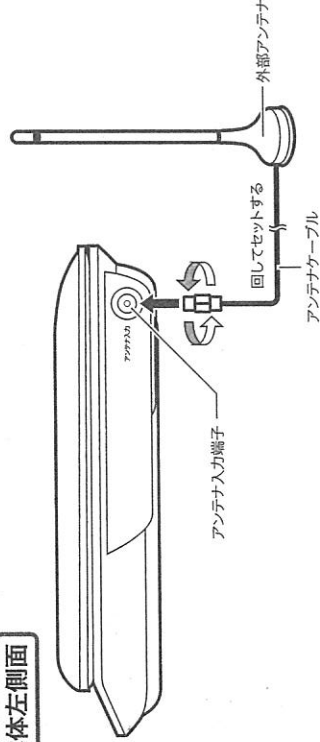
- 電波状況や放送規格の異なる海外地域では本製品をご使用になれません。また、室内、建物の陰、地下や、野外でも電波の強い場所では映像が映りませんのでご注意ください。
- その場合は家庭用のアンテナ線のご使用をおすすめします。

- ①本体のアンテナ入力端子に外部アンテナのアンテナケーブルを接続します。
- ②アンテナの土台には磁石が入っており、磁石をつけられる場所で、アンテナを固定することができます。

※アンテナの土台の磁石に、MOディスクやプロピレチンディスクなどのデータディスクや磁気カードなどの磁気記憶媒体を近づけたりくっつけたりしないでください。データが消えたり、破損する恐れがあります。

※室内での使用では放送電波が届きにくいいため、映像が乱れたり、映りにくかったり、音声が聞き取りにくい場合があります。また、室外での使用でも、放送局が遠く離れていたりビルや山の陰、地下など電波の弱いところでは、映像が乱れたり、映りにくかったり、音声が聞き取りにくくなる場合があります。

本体左側面



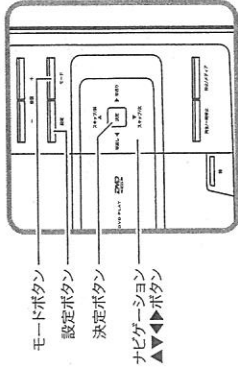
ワンセグを視聴する

ワンセグ放送を視聴する際は、ワンセグモードに切り換えた後、必ず最初にエリアを設定し、チャンネルのスキャンを行ってください。この設定を行わないとワンセグ放送は視聴できません。

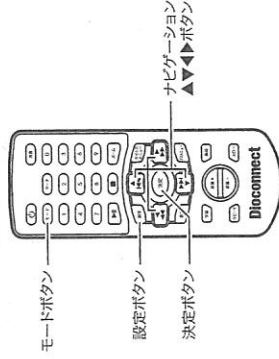
チャンネルをスキャンする

- ①本体の電源をオンにします。
 - ②<モード>ボタンを押して、『SDBモード』にします。
 - ③<設定>ボタンを押します。
 - ④<ナビゲーション>ボタンを押して、メインメニュー項目から『エリア』を選択します。
 - ⑤<決定>ボタンを押すと、サブメニュー『地域設定』へ移動します。
 - ⑥<ナビゲーション>ボタンを押して、現在の『地域』と『県』を選択し、<決定>ボタンを押すとチャンネルのスキャンが開始されます。
- 『地域設定』で『全城 チャンネル』を選択すると、現在地で視聴可能な局をスキャンします。
 - ⑦ワンセグ放送の視聴が可能になります。

本体中面



リモコン



注意

- 本製品の使用後に電源をオフにしても、受信チャンネルは記憶されたままです。
- 電波状態が強いチャンネルは、記憶されたり、されなかったりする場合があります。これは電波状態の変化などによるもので、故障ではありません。

ワンセグを視聴する

チャンネルを選局する

チャンネルの選局を行うにはチャンネル順に選局する方法と、〈数字〉ボタンで直接選局する方法と、チャンネルリストから選局する方法があります。

チャンネル順に選局する

○〈ナビゲーション〉ボタンを押すと、現在受信可能なチャンネル順に選局します。

チャンネルを直接選局する

○リモコンの〈数字〉ボタンを押して、ご希望のチャンネルを直接選局します。

①選局したい番号をリモコンの〈数字〉ボタンで入力します。入力したチャンネルの数字が画面左上に表示されます。

②〈決定〉ボタン、または〈再生/一時停止〉ボタンを押します。

チャンネルリストから選局する

○現在記憶されているチャンネルをチャンネルリストから確認し、選局することができます(P.39、ワンセグを設定するの「チャンネル」を参照)。

①〈設定〉ボタンを押すと、『ISDBモード』の設定画面が表示されます(P.38、『ワンセグを設定する』を参照)。

②〈ナビゲーション〉ボタンで「チャンネル」を選択し、〈決定〉ボタンを押します。

③チャンネルリストが表示されます。〈ナビゲーション〉ボタンでチャンネルを選択し、〈決定〉ボタンを押します。

※記憶されたチャンネルでも電波状態の変化などにより、受信されない場合があります。

注意

- 本製品の使用後に電源をオフにしても、受信チャンネルは記憶されたままです。
- 電波状態が弱いチャンネルは、記憶されたり、されなかったりする場合があります。これは電波状態の変化などによるもので、故障ではありません。

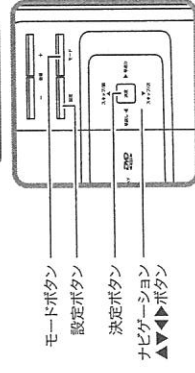
ワンセグを設定する

設定メニューにて、ワンセグの各種設定をおこないます。

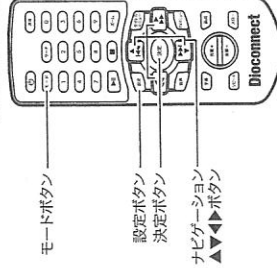
設定の基本操作

- ①本体の電源をオンにします。
- ②〈モード〉ボタンを押して、『ISDBモード』にします。
- ③〈設定〉ボタンを押します。
- ④〈ナビゲーション〉ボタンを押して、メインメニュー項目を選択します。
- ⑤〈決定〉ボタンを押して、サブメニューへ移動します。
- ⑥〈ナビゲーション〉ボタンを押して、サブメニュー項目を選択します。
- お好みの設定メニュー項目を選択した後、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。
- ⑦お好みの設定メニュー項目を選択した後、〈決定〉ボタンを押して設定を確定します。
- ⑧設定操作を終了する場合は、再度〈設定〉ボタンを押します。

本体中面



リモコン

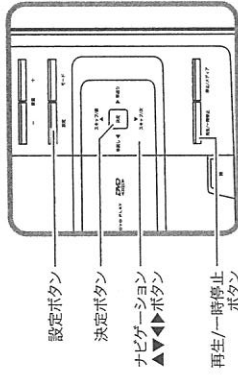


メインメニュー項目

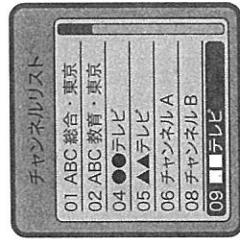
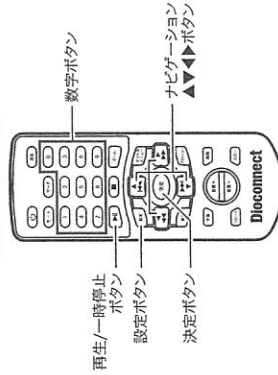


【設定画面】

本体中面



リモコン



【チャンネルリスト】

ワンセグを設定する

スキヤン

現在の設定でチャンネルをスキヤンし、チャンネルリストに登録することができます。
※エリアを変更すると、前回の記憶されたチャンネルは消え、更新されます。

チャンネル

前回スキヤンしたチャンネルのチャンネルリストを表示します。
視聴中のチャンネルには、□アイコンが表示されます。
(ナビゲーション)▲▼ボタンを押してチャンネルを選択し、(決定)ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。
※表示されているチャンネルでも、電波状態の変化等により受信できない場合があります。

番組表

現在運用中のチャンネルのEPG(電子番組表)を見ることができます。
現在放送中の番組を含め、10番組分が表示されます。
(ナビゲーション)▲▼ボタンを押して番組を選択し、(決定)ボタンを押すとその番組の詳細情報が表示されます。
EPGの表示を消すには、(設定)ボタンを押します。

エリア

地域を設定してスキヤンし、チャンネルリストに登録することができます。
『地域設定』で『地域』と『県』を選択し(決定)ボタンを押すと、スキヤンが開始されます。
『地域設定』で『全域 チャンネル』を選択し(決定)ボタンを押すと、現在地で視聴可能な局をスキヤンします。

設定

画面：フル/ワイドを切り換えます。
字幕：字幕あり/字幕なしを切り換えます。
音声：放送中の番組が二重音声放送の場合、主/副音声どちらからの音声、または両方の音声をミックスした音声を選択することができます。音声主/音声副/音声主+副から選択して切り換えます。
言語：設定画面の言語を、日本語/英語に切り換えます。

注意

- 本製品の使用後に電源をオフにしても、受信チャンネルは記憶されたままです。
- 電波状態が悪いチャンネルは、記憶されたり、されなかったりする場合があります。これは電波状態の変化などによるもので、故障ではありません。

外部機器と接続する

接続する前に

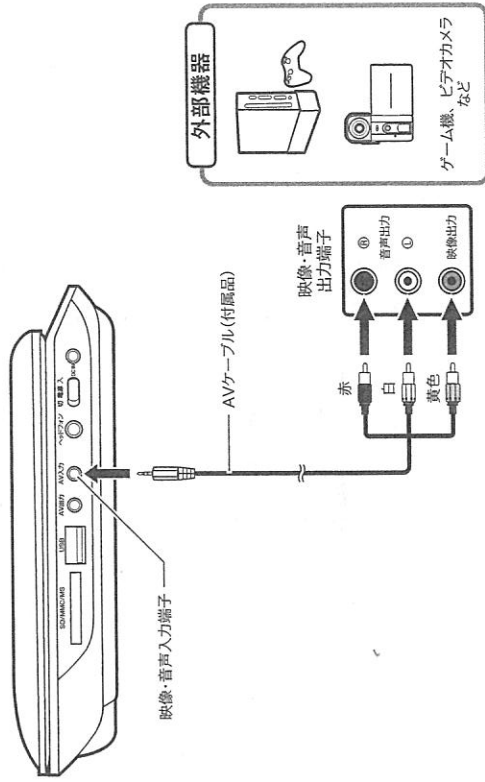
- 本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 接続する機器の説明書もお読みください。

外部機器との接続 - 入力

- ①下図を参照し、本体と外部機器を付属のAVケーブルで接続します。
- ②本体と接続機器の電源をオンにします。
- ③(モード)ボタンを押して、『AVINモード』にします。

映像と音声の本製品に入力する

本体右側面



注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、ビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

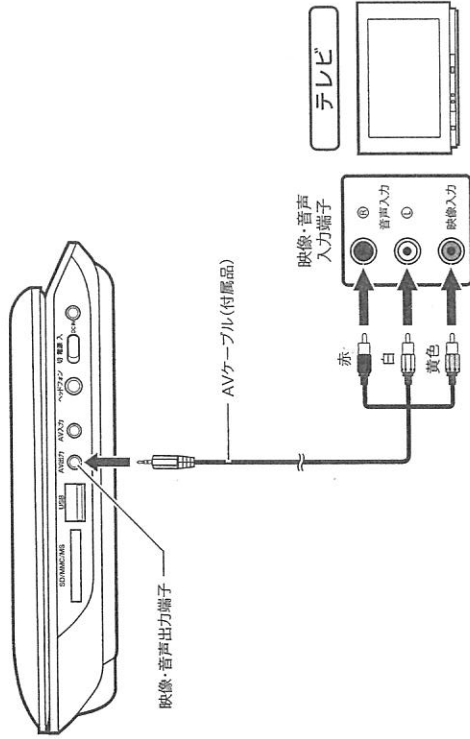
外部機器と接続する

外部機器との接続 - 出力

- ① 下図を参照し、本体と外部機器を付属のAVケーブルで接続します。
- ② 本体と接続機器の電源をオンにします。

■ 本製品から映像と音声を出力する

本体右側面



注意

- 接続するときは、必ず本製品および外部機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
- 本製品と外部機器は直接接続してください。例えば、ビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働き等により正常な画像にならないことがあります。

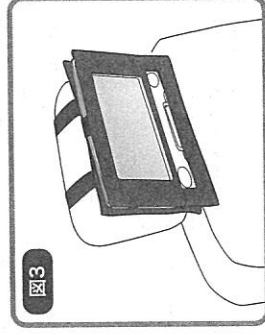
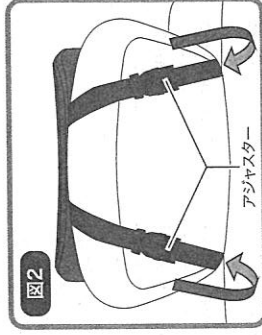
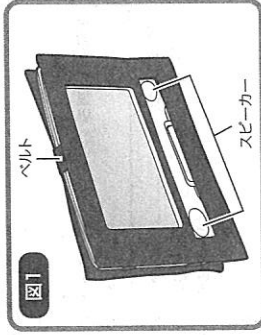
キャリングケースの使用方式

注意

- DVDプレーヤーは運転中に鑑賞・操作をしないでください。事故の原因となることがあります。
- ボーナーを使う場合は、後部座席に乗車している方のみを鑑賞ください。
- エアバッグなどの安全上の妨げにならないように使用してください。

プレーヤーを車の座席に取り付ける

- ① 付属のキャリングケースにプレーヤー本体をセットします(図1参照)。モニターとスピーカーが正しい位置になるように調整してください。最後に本体がしっかりと固定されるように、上部のベルトをしめてください。
- ② 前座席にあるヘッドレストにキャリングケースのベルトで固定します(図2参照)。本体がしっかりと固定されるように、アジャスターでベルトの長さを調節してください。
- ③ 運転の振動でプレーヤーが揺れない様にベルトで固定しながら、鑑賞しやすい位置に調整してください(図3参照)。



シガーソケット電源アダプターと接続しながら鑑賞したい場合は、P.18を参照してください。

トラブルシューティング

故障かな...?とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	処置・確認
接続したテレビに画像が映らない、または乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○テレビの入力切り換えは正しいですか。テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るように切り換えてください。 ○AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込んでください。 ○テレビ信号方式の設定が間違っている可能性があります。設定を確認してください。
映像の輝が戻る	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間同じ画面を表示していると、画面を変えた時に残像が発生する場合があります。表示する映像を変えたり、一度電源をオフにすると正常に戻ります。
電源が入らない (画像も音声も出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグが抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○主電源スイッチがオフになっていませんか。スイッチの位置を確認してください。 ○内蔵充電電池の電量残量がなくなった可能性があります。充電してください。 ○リモコンの電池残量がなくなった可能性があります。新しい電池と交換してから再度電源ボタンを押してください。
音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> ○外部機器と本体のケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。 ○ケーブルでつないでいる機器の電源が入っていますか。確認してください。 ○音量が低いまたは消音になっていませんか。(音量+)ボタンで音量を上げてください。
色がでない	<ul style="list-style-type: none"> ○鮮明度、コントラストなどの設定をかえてみてください。
画像や音が乱れることがある	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスプレイが汚れている可能性があります。ディスプレイをきれいにしてください。
画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする	<ul style="list-style-type: none"> ○ディスプレイのコピー防止機能が働いている可能性があります。ディスプレイの状態を確認してください。
再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアが正しくセットされているか確認してください。 ○本製品では再生できない種類のメディア、ファイルの可能性ががあります。種類を確認してください。 ○ディスプレイを裏返しに入れていますか。確認してください。 ○ディスプレイが汚れている可能性があります。ディスプレイをきれいしてください。 ○制限解除設定がされていますか。設定を解除・変更してください。
ディスプレイが決められた通りの再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ○リビート再生などをしていませんか。確認してください。
操作ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ○静電気やノイズなどの影響により本製品が動作しなくなっている可能性があります。種類を、主電源を入れ直すか、電源プラグを抜き、もう一度差し込んでみてください。

症状	処置・確認
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> ○電池の極性が表示通り正しく入っているか確認してください。 ○電池を新しいものと交換してみてください。 ○リモコンと本体の距離が開きすぎていませんか? ○リモコンと本体の間に障害物があると、リモコンの信号が本体に届かない場合があります。 ○本体のリモコンの信号の受光部に強い光等が当たっていませんか?
操作を受け付けけない	<ul style="list-style-type: none"> ○一旦主電源をオフにし、再度主電源をオンにして操作してみてください。
接続したテレビに画像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ○電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグの差し込みを確認してください。 ○テレビの入力切り換えは正しいですか。テレビの入力切り換えを、本製品からの画像が映るように切り換えてください。 ○AVケーブルはしっかりと接続されていますか。ケーブルをしっかりと差し込みます。
ワンセグ放送視聴時・映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ○アンテナケーブルが端子からはずれていませんか。アンテナ線が破損していませんか。アンテナのケーブルなどをお調べください。 ○チャンネル設定は正しく設定されていますか。設定がずれているなら、もう一度設定し直してください。 ○自動車、オートバイ、高圧線、電車、電気掃除機、ドライヤーなどからの妨害が考えられます。これらからアンテナやアンテナ線、テレビ本体をできるだけ離してください。 ○他のテレビやパソコン、ラジオ、ファクシミリから出る妨害電波の影響が考えられます。それらの電源を切ってみてください。また、無線局などからの電波が混在して起こることもあります。 ○電波が弱い、あるいは障害物などがあると、映りが悪くなります。できるだけ電波が安定していて、障害物がないところで受信してみてください。
ワンセグ放送視聴時・色がでない	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンネル設定は正しく設定されていますか。設定がずれているなら、もう一度設定し直してください。

仕様

再生可能メディア	DVD-VIDEO、CD-DA、DVD-R/-RW(CPRM対応含む)、CD-R、SD(SDHCメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)、メモリースティック(Duo/Pro/Pro Duo)、USBメモリー	
対応フォーマット	DVD-VIDEO、CD-DA、JPEG CD	
対応ファイル形式	MPEG4、MP3、WMA、JPEG	
ワンセグ部	受信チャンネル 映像符号化方式 ビットレート/フレームレート 音声符号化方式 ビット長/サンプリングレート テレビ信号方式 アンテナ 表示言語 字幕音声放送 字幕 EPG	UHF ch13 ~ 62 H.264/AVC ベースライン 384kbps/15fps MPEG2 AAC/AAC-SBR 16bit/24kHz(ハーフ) 48kHz ISDB-T 外部アンテナ 日本語/英語 主音声/副音声/主+副音声 表示可能 対応
液晶タイプ	7型ワイドTFT液晶	
画素数	横480×縦234ドット	
アスペクト比	16:9 (4:3選択可)	
映像方式	NTSC、PAL	
画面表示言語	日本語、英語	
音声最大出力	スピーカー 2W×2、ヘッドフォン 10mW×1	
スピーカーサイズ	φ 28mm	
入出力端子	映像・音声出力端子×1、映像・音声入力端子×1、USB端子×1、ヘッドフォン出力端子×1、SD/MMC/MSカードスロット×1	
電源	本体：DC入力端子 9V ACアダプター使用時 AC 100 - 240V ~ 50/60Hz シガーソケット電源アダプター使用時 DC 9~12V 内蔵型リチウムイオン充電電池	
消費電力	約18W	

仕様

外形寸法	(W)223×(H)40.5×(L)168mm(突起部除く)
質量	約795g(バッテリー含む)
使用環境	温度：5~35℃ 湿度：5~90% (結露なきこと)

すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記録内容を予告なしに変更することがあります。
※ファイナライズ済みのDVD-R/-RW(ビデオフォーマットのみの)はDVDビデオとして再生できますが、使用するディスクの特性、劣化、傷、または記録状態や記録機器、記録ソフト等の特性等により再生できない場合があります。
※OD-DAのフォーマットで記録された音楽用CD-R/-RWは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。
※CPRM方式で記録されたディスクは再生できますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

液晶画面について

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
○一部に常時点灯、または常時点灯しない画面が存在する場合があります。
○明るさにもよりますが生じる場合があります。
○太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービス

◎保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されており、保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください(保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください)。

◎修理をご依頼の前に

本取扱説明書の「トラブルシューティング」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記までご相談ください。

本書の内容を無断で転載や複製をしないでください。
当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるもの
がございますかご了承ください。
本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。